

博多港における浚渫（しゅんせつ）

- 大きなコンテナ船やクルーズ船などの航行の安全を確保するため、海底を掘って船の通り道（航路）などを確保しています。これを浚渫（しゅんせつ）といいます。
- 浚渫で発生した土砂を環境改善のために有効利用しております。（窪地の埋め戻し）

浚渫船



海底の土砂を採取



土運船



浚渫土砂を窪地へ運ぶ



トレミー船(埋め戻し)



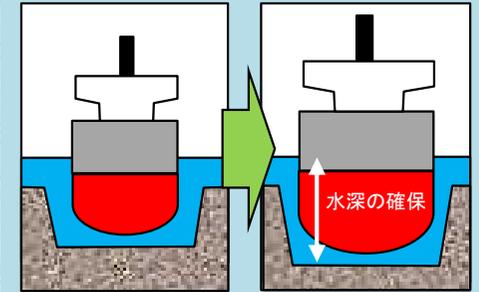
浚渫土砂を窪地へ投入



コンテナ船



大型船による大量の貨物輸送が可能
⇒大きな船はより深く掘る必要がある



クルーズ船



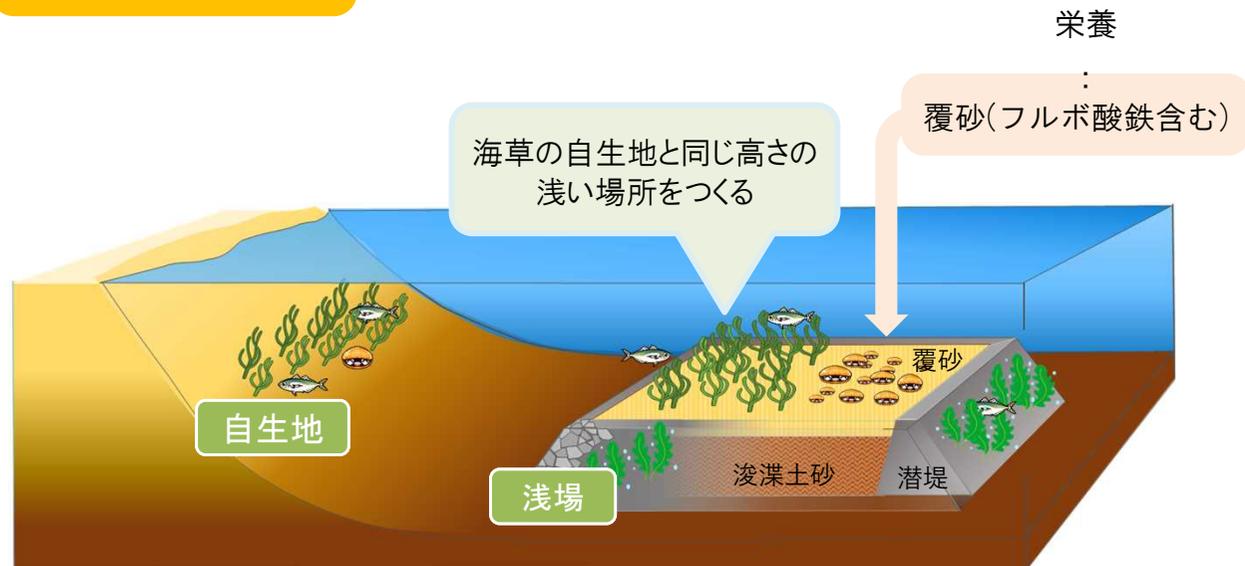
豊かな博多湾に向けた浅場造成

- 生物が生まれ育つ豊かな博多湾を次世代につなぐための環境創造の取組として、浚渫土砂を活用した浅場を造成します。(令和6年度から着手)
- 地域の関係者が協働し、人手を加えることにより、生産性と生物多様性が高まる豊かな環境(「里海」)を目指しています。

浅場造成を行う位置図



浅場 (イメージ)



期待される効果など

環境創造		期待される効果
水深の浅化	浚渫土砂	貧酸素水の影響が低減
覆砂など	フルボ酸鉄、貝類など	底質・水質が改善、貧酸素水の影響が低減
ブルーインフラ創造	海草・海藻類	生物の生息・生育環境改善(海のゆりかご)
		CO2の吸収・固定(ブルーカーボン)

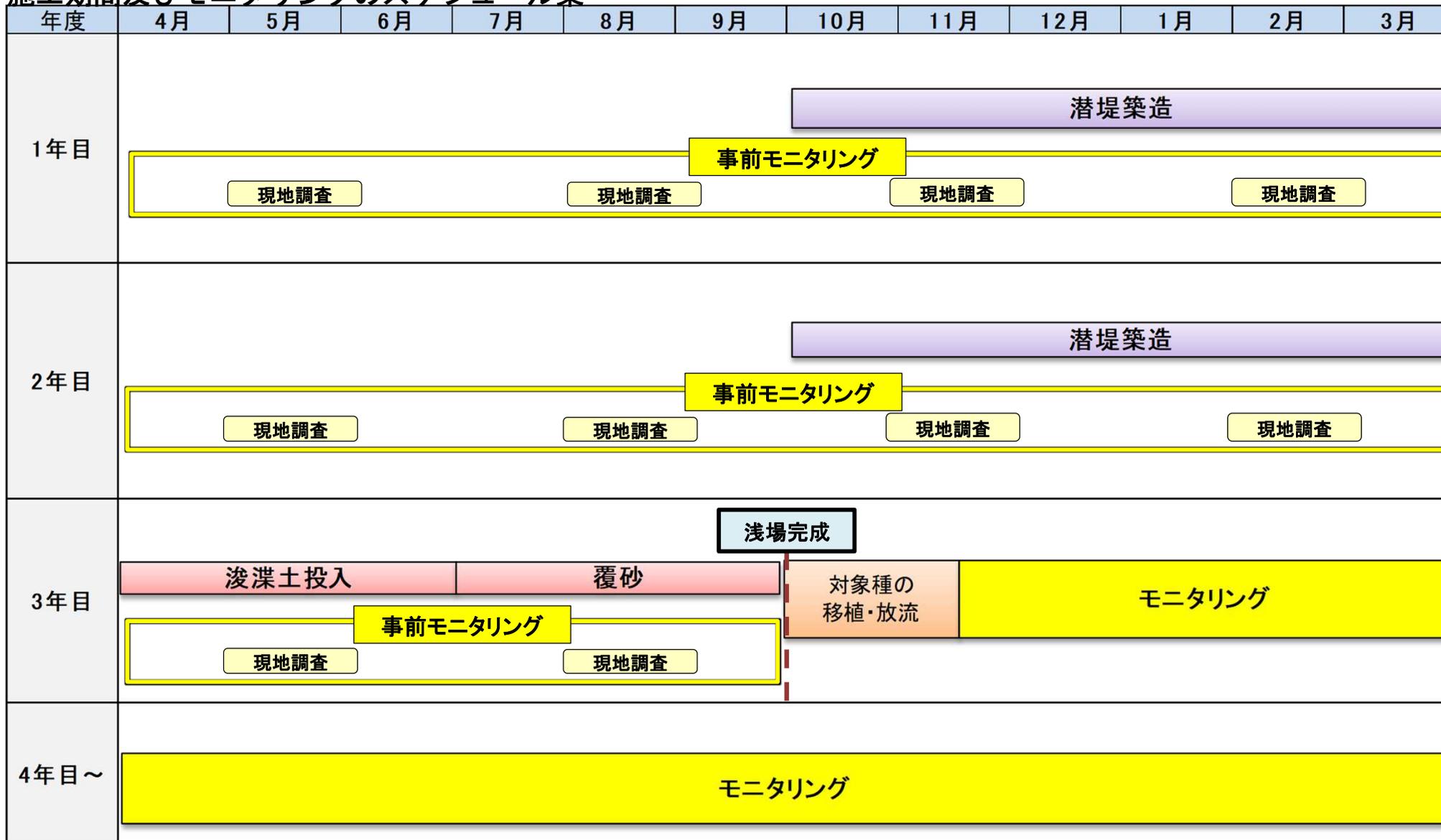
モニタリング

- ・各種環境項目
- ・生物の成育状況 など

施工期間及びモニタリングのスケジュールについて

○ 浅場完成までに、事前モニタリングとして対象エリアの水質や底質などの環境調査を行い、浅場完成後は海草・海藻類、貝類を移植・放流後、環境調査に加えて生物の生育状況の調査を行う予定しています。

施工期間及びモニタリングのスケジュール案



※潜堤及び浚渫土・覆砂事前事後の深浅測量は各々の施工にあわせて実施